

令和8年4月19日

2025(令和7)年度
健康食品管理士/食の安全管理士会 近畿支部総会の概要

会 場：関西大学千里山キャンパス第4学舎3号館
：対面のみ
日 時：令和8年4月19日(日) 13:00～

総合司会：杉山副支部長

1. 開会の辞 杉山副支部長

2. 議長、書記の選出

会場から立候補者なく事務局から推薦
議長：吉本氏 書記：高橋氏を推薦

***** 賛成多数で承認 *****

(参考)議事録署名人：竹浦氏、豊田氏に依頼

3. 支部長挨拶：長岡支部長

4. 総会出席者数の報告 事務局：高橋

○出席者数：12名 (総会開始時11名 やや遅れて1名出席)
(参考)支部会員数 有効会員：401名
(支部登録者数；1,475名 内1074名未更新)

5. 2025(令和7)年度 事業報告：杉山副支部長

1) 資格制度研修会

日時及び方法：令和7年4月13日(日) 13:30～16:10
開催場所：関西大学千里山キャンパス
開催形式：対面+Online+オンデマンド

講演1「一般消費者・薬剤師を対象とした調査結果から考える！
アドバイザースタッフに期待される知識とスキル」
講師：鎌尾まや (神戸薬科大学 エクステンションセンター 講師
健康食品領域研修認定薬剤師制度 担当)

講演2「食品の製造に“なぜGMPが求められるのか？”
講師：平野和行 ((一社)日本食品安全協会副理事長 岐阜薬科大学名誉教授
(一社)日本GMP支援センター理事長)

参加者：144名 (対面+Online+オンデマンドの総計)
(含:アドバイザースタッフ 5名)

2) 総会

日時及び方法：令和8年4月19日(日) 13:00～13:20
開催場所：関西大学千里山キャンパス 第4学舎3号館
開催形式：対面

3) 役員会：2回

令和7年4月13日、令和8年2月9日

6. 2025(令和7)年度 会計報告：会計担当 内堀氏 (資料-1)

7. 2025(令和7)年度 監査報告：監事 上地氏
「健康食品管理士会近畿支部の2025(令和7)年度会計監査を
行ったところ業務内容・会計処理、いずれも適切に行われていた」

※※※ 事業報告、会計報告 併せて審議 賛成多数で承認される ※※※

8. 2026(令和8)年度 事業計画案：長岡支部長

1) 資格制度研修会

日時及び方法：令和8年4月19日(日) 13:30~16:10

開催場所：関西大学千里山キャンパス

開催形式：対面+Online+オンデマンド

講演1「発酵食品の基礎と納豆の機能性」

講師：辻 聡 (東京農業大学 応用生物科学部 醸造科学科 准教授)

講演2「発酵食品のパラダイムシフト：

微生物との対話が拓く持続可能な未来」

講師：倉田淳志 (近畿大学 農学部 応用生命科学科 教授)

2) 支部総会

日及び場所：令和9年4月 関西大学千里山キャンパス

3) 役員会：2回

9. 2026(令和8)年度予算案： 会計担当 内堀氏 (資料-2)

※※※ 事業計画案、予算案 併せて審議 賛成多数で承認される ※※※

10. 2026(令和8)年度 支部役員紹介：長岡支部長

支部長 長岡 康夫 (関西大学)

副支部長 杉山 昌晃 (関西大学)

事務局長 高橋 克己 (京都橘大学)

会計 内堀 恵美 (大阪行岡医療専門学校)

理事 吉本 茂 (大阪国際がんセンター)

監事 豊田利恵子 (玄埜クリニック)

上地 裕美 (南大阪病院)

顧問 竹浦 久司 (多根総合病院)

三木谷 研一

(2025(令和7)年度と変更なし)

1 1. その他 質問、提案、等 特になし

1 2. 議長、書記 解任

1 3. 開会の辞 細見副支部長

「以上のとおり提案した議題は全て承認され閉会」

令和7年度収支計算書の勘定科目一覧

日本食品安全協会近畿支部

勘定科目	金額	勘定科目の説明
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1. 会費収入		
1) 本部よりの入金	¥515,395	本部よりの支部会費(前年度繰越金を除かない金額)
2. 事業収入		
1) ○○事業収入	¥0	○○事業を行うため特別に徴収した金額
2) ○○事業収入	¥0	
3. 補助金等収入		
1) ○○補助金収入	¥0	
2) ○○寄付金収入	¥0	
4. 雑収入		
1) 受取利息	¥433	預金利子
2) 雑収入	¥0	負担金徴収金・祝儀他その他の収入
経常収入合計 (A)	¥515,828	

II 経常支出の部

1. 事業費

1) 研修会事業費	¥212,750	税引前の講師謝礼金と旅費・会場使用料・受付日当と旅費・飲食代他(源泉所得税分は本部へ送金)
-----------	----------	---

2. 管理費

1) 給料手当	¥0	税引前の職員人件費(源泉所得税分は本部へ送金)
2) 福利厚生費	¥0	職員のレクリエーション費用他福利増進を目的とした費用
3) 会議費	¥22,000	業務や活動に関する会議のための会場費・飲食代など
4) 旅費交通費	¥10,980	電車代・タクシー代等の交通費(含む職員の通勤費)
4) 日当	¥33,000	3000円/人、位でしたら源泉税はかかりません。
5) 通信費	¥220	電話代・切手代・プロバイダー契約料他
6) 消耗品費	¥704	机・イス等の備品・日用品・事務用品他
7) 修繕費	¥0	備品類他の修理に支出するもの
8) 水道光熱費	¥0	電気・ガス・水道料金など
9) 賃借料	¥0	不動産賃借料・事務機器のリース料
10) 保険料	¥0	損害保険の保険料
11) 諸会費	¥0	諸団体に対する会費
12) 租税公課	¥0	印紙税
13) 雑費	¥0	他の勘定科目のいずれにも含まれないもの

経常支出合計 (B) ¥279,654

経常収支差額 (A)-(B)=① ¥236,174

Ⅲ その他資金収入の部

1. 固定資産売却収入

1) 什器備品売却収入	¥0	備品等売却した場合の売却代金
2)	****	

2. 借入金収入

1) 短期借入金収入	¥0	一時的に外部より借入したもの
2)	****	

その他資金収入合計 (C) ¥0

Ⅳ その他資金支出の部

1. 固定資産取得収入

1) 什器備品購入支出	¥0	パソコン等一式10万円以上の備品を購入した場合
2)	****	

2. 借入金返済支出

1) 短期借入金返済支出	¥0	一時的に借入した借入金の返済額
2)	****	

その他資金支出合計 (D) ¥0

当期収支差額 ①+(C)-(D)=② ¥236,174

前期繰越収支差額 ③ ¥0

次期繰越収支差額 ②+③ ¥236,174

(資料-2)

令和8年度予算案の勘定科目一覧
日本食品安全協会近畿支部

勘定科目	金額	勘定科目の説明
------	----	---------

(資金収支の部)

I 経常収入の部

1. 会費収入

1) 本部よりの入金	¥471,841	本部よりの支部会費(前年度繰越金を除かない金額)
------------	----------	--------------------------

2. 事業収入

1) ○○事業収入	¥0	○○事業を行うため特別に徴収した金額
2) ○○事業収入	¥0	

3. 補助金等収入

1) ○○補助金収入	¥0	
2) ○○寄付金収入	¥0	

4. 雑収入

1) 受取利息	¥0	預金利子
2) 雑収入	¥0	負担金徴収金・祝儀他その他の収入

経常収入合計 (A) ¥471,841

II 経常支出の部

1. 事業費

1) 研修会事業費	¥320,000	税引前の講師謝礼金と旅費・会場使用料・受付日当と旅費・飲食代他(源泉所得税分は本部へ送金)
2) ○○○事業費	*****	
3)	*****	

2. 管理費

1) 給料手当	¥0	税引前の職員人件費(源泉所得税分は本部へ送金)
2) 福利厚生費	¥0	職員のレクリエーション費用他福利増進を目的とした費
3) 会議費	¥50,000	業務や活動に関する会議のための会場費・飲食代など
4) 旅費交通費	¥30,000	電車代・タクシー代等の交通費(含む職員の通勤費)
4) 日当	¥50,000	3000円/人、位でしたら源泉税はかかりません。
5) 通信費	¥4,000	電話代・切手代・プロバイダー契約料他
6) 消耗品費	¥10,000	机・イス等の備品・日用品・事務用品他
7) 修繕費	¥0	備品類他の修理に支出するもの
8) 水道光熱費	¥0	電気・ガス・水道料金など
9) 賃借料	¥0	不動産賃借料・事務機器のリース料
10) 保険料	¥0	損害保険の保険料
11) 諸会費	¥0	諸団体に対する会費
12) 租税公課	¥0	印紙税
13) 雑費	¥7,000	他の勘定科目のいずれにも含まれないもの
14)	*****	

経常支出合計 (B) ¥471,000

経常収支差額 (A) - (B) = ¥841

III その他資金収入の部

1. 固定資産売却収入

1) 什器備品売却収入	¥0	備品等を売却した場合の売却代金
2)	*****	

2. 借入金収入

1) 短期借入金収入	¥0	一時的に外部より借入したもの
2)	*****	

その他資金収入合計 (C) ¥0

IV その他資金支出の部

1. 固定資産取得収入

1) 什器備品購入支出	¥0	パソコン等一式10万円以上の備品を購入した場合
2)	*****	

2. 借入金返済支出

1) 短期借入金返済支出	¥0	一時的に借入した借入金の返済額
2)	*****	

その他資金支出合計 (D) ¥0

当期収支差額 ① + (C) - (D) = ¥841

前期繰越収支差額 ③ ¥0

次期繰越収支差額 ② + ③ ¥841